

設問 2 今回のご講演内容を、今後の自分の生き方 どう生かしたいと思いますか。書いて下さい。

回答数 101

- 私はいずれ日本が戦争をする時が来るかもしれないの考えている。もし、その時が来るのなら自分の大切なひとを守れるような準備はしておきたいと感じました。
- ウクライナで兵隊となって国のために戦っている人々のことを考えると、自分が今どれだけ良い環境で生活できているのか改めて考えることができた。
- 学生に限った話ではありませんが現地入りした記者に直接ご講談を受けるというのはとても貴重です。。この貴重な講談を聞ける環境に感謝し、またこのような環境にいる自分達こそが世界を引っ張っていけないと感ずることができました。
- 情報の信頼性を確認することが大切だとわかりました。ウクライナではロシア軍が市民を虐殺している動画をロシア政府はフェイクだと言っていました。しかし虐殺が行われていたのは本当だったので、これから自分は SNS やネットの情報を受け取る際は情報が本当かどうか、確認しようと思います。
- いつ戦争が起きるかわからないので 1 日 1 日大切に生きていきたいと思いました。
- ウクライナのように幸せだった世界が一夜で地獄と化したので毎日自分が平和の世界で生きてることを感謝して、家族と楽しく過ごし続けたいです。
- 今何も変哲のない日常を大切にしていきたいと思いました。
- 今日日本は平和であるが、ウクライナをはじめとする世界では想像もつかないような悲劇が起きてることを知り、今ある暮らしに感謝することが大切だと改めて認識する機会になりました。ウクライナの方々は明日どうなるかわからないという状況の中で毎日家族や友人と過ごしている映像を見ると、私も一日、一日を大事に生きようと思いました。

- 今回の講演で私がこれからの生活に活かせれると思ったことは、他力本願ではなく自主的に取り組んで自分ならでわの考えを持ち、自信を持って行動につれるようになりたいです。
- 金成さんの講演で「死の通り」の映像をロシアがフェイクと言って騙されている人がいると聞いて、自分もニュースや情報が事実なのかフェイクなのかを見分ける能力を身につけていきたいと思いました。
- これからも戦争は必ず起きてしまうと思う。そうならないために自分にできる限りの努力をしていきたいと思います
- 常に目と鼻の先に戦争が起こっているということを意識し続けること。
- 金成さんが言語が通じない人が多い国でも取材をするように、自分もそのような環境に身を置きたいなと思いました。
- 金成記者のお話を聞いてただ聞いたり見たりした話をするだけでは無く、実際に行き現地で危険に侵されながら生の声を聞いているのが実際に行動する行動力の大切さを学ぶ事が出来ました。
- ロシアはウクライナ側の主張に対して全てデマだと発言し、今ならともかく当時ではその主張を信じそう拡散している人もいたと言う事から言葉を全て鵜呑みにするのではなく自分でも何を信じるか一度考えてみたいと思った。
- 今回お話いただいた内容で市民の軍事訓練についてありましたが、日本もこれから先いつ戦争に巻き込まか分からない状況なので、軍事訓練の様子についても確認して、戦争が起こった際にどのような行動を取ったら良いのか考えながら生活していきたい。また、海外に行った時にも、海外の人と情報を交換したりすることもあるかもしれないため、もっとウクライナ情勢についてみていきたい。
- 今のウクライナの状況のようにいつ撃たれてもおかしくないという状況が今後日本にも訪れる可能性は0に近いので、戦争のニュースや記事などを適当に流してみるだけではなく知識として。頭に入れておくことも重要だと思いました。志願兵がいるように自分も他人事にしないで物事に取り組めるように努力していきたいです。

- ウクライナ人が話していたように自分の身を守ることができるのは政府でも軍隊でもなく自分自身という言葉を受けこれからの自分の人生は自分の力で生きようと思います。
- いつ死ぬかわからないということを実感したので後悔のないよう今を大切に生きようと思いました。また、家族や友人もいつ亡くなるかわからないので大切にしていこうと思いました。
- 英語をしっかりと勉強して海外の人たちと世界情勢の話をしたい。
- 現代の戦争は情報が SNS で誰でも簡単に見ることのできる時代で、すべての情報を簡単に信じずに、自分なりに疑って見るのが大切だと思いました。
- 周りから流れてくる情報、情報力を強くして生きようと思いました。
- もう少しニュースを見て視野を広げたいと思いました。
- 今後日本で戦争が起きてしまった場合パニックになってどうすれば良いのかわからないので考えていきたいです。
- 今の誠意杯生きようと思いました
- いつ戦争が起こるか分からないので、いつでも緊張感を持って生きていきたい。
- 公演の終盤におっしゃっていた明日何が起こるかわからないので大切な人と天気の良い日は外に出る。
- ウクライナ人で多くの人が戦争前から軍事訓練を行なっていました。これが私でしたら、訓練に行っていなかったと感ずます。今平和な日本に住んでいるからかもしれませんが、最悪を考え備えるという行動が今の今後の人生に必要なだと感ずました。
- 今回の講演で信頼できる情報筋、できない筋が判断できる要素の一つを得る事ができたので、これから情報を収集する際に活かしていきたい。
- 私は今回の演説を聴き、ウクライナ人の明日何が起こるかわからないから 1 日 1 日を大切に過ごしているということに感銘を受けたため、自分の今後この気持ちを持とうと感じた。これは、私たちは今現在当たり前のように何気なく 1 日を過ごしています。しかしこの生活は私たちにとっての当たり前ですが全世

界で見るとウクライナの人のように明日死ぬかもしれないという環境で過ごしています。そのほかにもアフリカで食料がなく飢餓で豊かでない生活を強いられてる人もたくさんいます。そこで私たちは豊かな暮らしをできている幸せな人です。それゆえ豊かに暮らせていることに誇りを持ち 1 日 1 日を大切にし、経験をつみ感謝を持つことが私たちに求められている生き方だと感じた。そのためこれから私はこれらの豊かさに感謝の思いを持って生きていこうと思った。

- 英語を話せるようになりたいなと感じました。
- やはり記者としても海外に出る人も必ず英語が喋れることが大前提としているので、やはり英語力を高めていきたいと思いました。外国人志望者がとても心に残りました。今日の講話の中ではベルギーの人がなんの関係もないウクライナに助けるという行為はとても勇気があると思い、こういうひとのおかげでベルギーが戦争がなかったらウクライナの人が助けるという連携行動が起こると思いました。ウクライナの戦争はウクライナの問題だと思っていたが、世界の問題だと思ったので、もう一度見直したいと思いました。
- 今回の金成さんの講演を聞いて、自分は今後虚偽の情報に騙されてはいけないなと感じました。なぜかという、公園の中で、ロシア側がウクライナ市民を殺しているのに、ロシア外交官がそれは嘘だと言い、たくさんの人がそれに騙されたからです。自分は今後、その情報は正しいのか間違っているのか疑いの目から入り、簡単に騙されてはいけないと感じました。
- 今回のご講演を聞いて、ウクライナ人は侵攻されないだろうと思っている人もいた中侵攻されたので、いつか日本も近い未来に戦争になるんじゃないかと思いました。もし戦争が起きた時に自分がどう行動するのかしっかり考えないといけないなと思いました。自分の世代や親の世代は戦争を体験していない世代なので実際にどのような状況になるのかどう動けばいいのかわからなく、戦争が起きた時には現実が受け止めれないと思うので今回のようなご講演はとても大切な話だしこのような話はしっかり頭に残していけないなと思いました。
- 日本も戦争に巻き込まれる恐れがあるかもしれないので色んな対策を取ったほうがいいと思います。家の窓を強化ガラスに変えたり、家具の固定など。避難経路の確保も大切です。

- 上記に書いてある通り、もし同じ立場に立った時にこの講演を思い出して自分、そして大切な人を助けるために生かしたいと思います。
- 英語ができるようになりたいと思った。英語ができるようになると、いろんな人と、話すことができるようになって、楽しいだろうなと思った。メディアリテラシーをしっかりと身につけようと、思った。
- 日本も中国やロシアに近い国でもあるし1日を大切にしていこうと思いました。
- 毎日を大切に、そして今ある平和に心から感謝しないといけない、そしてどうすれば、戦争のない平原世の中になるかを考えないといけないなと思いました。
- 私が今回の講演でこれからの生き方に生かそうと感じたのはウクライナ侵攻から学ぶことももちろん重要だがそれよりも危ない地域に乗り込んでもその地域の人々の生の声を聞きそれを世界に発信するという金成記者のような行動力です。
- 今後、私は、タトゥーアーティストのように自らその仕事ではないのに行動できるような人になりたいと思います。
- これまでの僕の生活では一つのニュース番組しかみていなかったなのでこの講演を機に他のニュースからも情報を仕入れ、情報の比較するようにしたいです。
- 今回の講演を聞いて改めて平和が当たり前ではないことを感じた。今自分が「普通」の生活を送れていても、世の中には国の戦争で苦しんでいる市民がいることを自覚し、今の平和な環境に感謝して生きたい。
- 今後の生き方について、SNS上の情報のをなんでもかんでも信用しないようにしようと思います。そして情報の真偽を見極められるようになりたいです。
- まず、ネット上に行き交っている情報を全て信じてはならない、という金成さんの言葉が印象的でした。今後僕たちは、数えきれないほどの情報と出会うはずですがその時には、それを鵜呑みにするのではなく、一度疑って信憑性を確かめ、噛み砕き、自分のものにしていこうと思いました。そして、英語の大切さを金成さんは、何度も強調しておりました。グローバル生として、英語を勉強している身として、大変心に響きました。自分の世界への行動範囲を広げるた

めにも、英語を学ぶことに励もうと思います。そして、自分のこの日常を大切に
して、1日1日を充実に過ごそうと思います。

- 今後もし自分が住んでいる日本がウクライナと同じような状況になった時に備えてみようかと思いました。
- インターネットには、虚偽の情報が多いことを学び、インターネットの情報を鵜呑みにしないでおこうと思った。
- 今回の話を聞いてまず圧倒的に私はニュースを見ることが少ないと感じた。金成さんの話でニュースや、新聞に興味を持ったため、もっと身近な情報なども感じれるようになりたい。
- 自分の命に代えてまで国を守ろうとする方々に感心したため、募金をする機会があれば、しようと思います。
- ロシアとウクライナの SNS の情報戦からネットの情報を疑ってかかることを学んだ。これからの生活でも必要になるので生かしていきたい。
- 命や1日1日を大事にしていこうと感じた。また、憲法9条を改正するというのは元から反対だがその気持ちがいっそう強くなった。
- しっかりと英語を勉強して、国際関係について勉強したいと思いました。知識や言語を身につける必要だと思いました。
- 今回の講演で、この当たり前のように家族や友達とかと過ごしている日常がある出来事によって当たり前が当たり前でなくなってしまうことがあると感じることがきた。講演中のロシア軍が侵攻してくる前の映像で、家族が楽しく外に出歩いて、娘や息子と一緒に楽しそうに喋っているような映像をみた。そんな当たり前な日常がロシア軍の侵攻によって、父は国の防衛のために前線で戦い、子供たちは地下のシェルターで攻撃から逃れる生活を送っているのが現状である。そんなたった1日の出来事で家族と今後会えなくなるかもしれない。だから1日1日の家族や友達との何気ない会話や遊びは大事なんだと知れた。また僕はそういうのを失ってから初めて気づいたり、後悔するのをしないようにしたいと思えるきっかけとなりました。
- インターネット上に出回っているものを全て信じるのではなく、所々自分でフェイクニュースかどうかを判断する必要があると思った。

- 今後はネットの情報も疑うことを意識して生きていきます
- 英語を学び、2カ国語を喋れて、理解をすることで将来の夢の選択肢や幅が広がると思った。
- 自分は「自分をもっとよく見せたい」と思いたまに虚言を言ってしまうことがあり、自分でも悩んでいるためより”リアルな自分”を見せるために嘘の自分を見せるより自分のリアルで魅せようと思いました。
- 金成さんが入念におっしゃっていた通り、真偽の判断が難しいインターネットの情報をなんでもやみくもに信じ切ってしまうと、今のロシアにあるように純粋に騙される人も生じます。自分がそうはならないように今後、情報に対し疑う心を持ち、本当に真偽を確かめるためには実際に自分で見る必要があるのだと感じました。また、英語の上達は海外で翻訳してくれる人を探すことにも役立つのだとお聞きして、英語にはそういった面もあったのか、と思い英語を学ぶことへの興味がさらに高まりました。
- たとえ自分とは縁のない話だったとしても、決して他人事とは思わず、自分のことのように受け止め、自分ならどうするか常に考えられるようになっていくために、今回の講演で学んだことを生かしていきたいと思いました。
- 嘘の情報などを正確に見極めれるように活用したい。
- 情報を得るときはデマかもしれないと意識をしようと思いました。また、困難な事が起こり、壁が立ちほだかっても諦めず積極的に行動しようと思いました。
- 正しい情報を自分で見極め、それをもとに知識をひろげていきたいです。
- 世に出回る情報が100%正しい良いとは判断せず、疑い、どこからの情報で信憑性があるかどうか一度考える。
- 極力、気になるニュースがあったら、youtube や新聞いろいろな角度から物事を見極め、どれが真実か確かめ、デマや虚偽の情報に惑わされないようにしていきたい。
- 今回のお話を聞いて今後自分の生き方に活かしたい点が大きく三つあります。一つ目は、自分は恵まれた国(環境)で生きていることに感謝することです。こうやってどこかで小さい子からお年寄りが戦って亡くなっている中、私たちが何事も関係ないかのように過ごしていることがどれだけ幸せか、考えさせ

られるきっかけでもあったので、それを忘れずに、感謝しながら過ごしていきたいです。二つ目は、遺体を回収していた方や外国人の志願者の方のような自分の人生の信念を持ち、それに向けて行動することです。「何かのために」「私はこのようにすべきだ」というような自分の意思を明確にして、その意思に向かってアクションを起こせるような、そんな人になれるようにしていきたいです。三つ目は、世界情勢を知り、それらが日本にどのような影響をもたらすかや世界情勢に限らず自分にどのようなことが影響するかを見極めて、それに向けた準備という段階を怠らないことです。先述させていただいた通り、私たちは恵まれた環境で生きてるため、自分たちの環境が脅かされた時にすぐに対処することができません。客観的に自分たちを見て、リスク管理をしておくという準備をしておこうと思います。

- インターネットリテラシーを高め、インターネット上の情報の真偽を見極められる力をこれから身につけたいと思います。
- もし日本がそのような状況になってしまったとき自分ならどうするのか考えて生きていこうと思った。
- 平和に暮らせることがいかに幸せなのかを実感した。余裕のある人たちが、無罪の人たちに何か手助けをしなければならないという使命を感じた。また、今後懸念される様々な国際問題について知識を蓄え、正しい情報を選別できるように成長したい。
- SNS の情報を全部鵜呑みにしない。ロシアのようにフェイクニュースを流す人たちがいるかもしれないから。今の時代何が起こるかわからないので、家族や友人等との普通の時間を大事にして生きていく。
- ロシアによるウクライナ侵攻から、多くのフェイク情報は SNS を通じて世界に発信された。金成記者がおっしゃっていたウクライナ人女性の発言が特に心に残った。「海外メディアを通じて正しい情報の発信をしていくことが大切」と。そのため、あるメディアだけに情報源を依存せず、幅広く情報源を持つことを大切にしてまいりたい。
- ニュースや新聞記事に載っていない情報が世の中にはたくさん存在するので、多くの情報に触れることで広い視点を持って物事を見ていきたい。
- 今後はメディアの使い方とともに英語をこれまで以上に学び、将来の職にも役立てていきたい。グローバル化やメディア化が進んでいる現代社会で世界

的な視点を持ちながら問題を知り学ぶことは、記者という職業以外でも必要なことであるため今後も正しい理解力を身につけニュースなどを見ていきたい。

- メディアリテラシーに気をつけようと思った。情報が正確であるか現場に行ってみないとわからないこともあるため、常に疑う心をもつ。
- 今回の講演では、実際に自分で足を運び、真実を知ることがとても重要であると感じました。なぜなら、今では SNS 時代やソーシャルな社会であるため、何が真実であるか、そうでないかがわからない。そのため、何に対しても真に受け、それを広めてしまうと悲惨なことが起こる。今回のロシアの軍事侵攻のように。ソーシャルリテラシー問題だけでなく、現地に行くことで、感じることや課題点が見つかると感じた。そのため、今後は人に頼らずに一步出して行動することを心がけたいと思った。
- まずは正しい情報を見抜け得るようにしたいと思う。私自身、取材するほどの意欲はないがそれでも何が正しくて何が間違っているかを身につける能力を得られるように頑張りたいと思う。また、英語をより学んで、得られる知識の幅を今まで以上に広げられるように頑張りたいと思う。
- 全てのニュースを鵜呑みにするのではなく自分自身で確かめる
- 日本は島国であるため内陸から他国が攻めてくることは考えづらいですが、国際情勢が不安定な現在社会において、ロシアによるウクライナ侵攻を他人事と考えずに日々を過ごしたいです。
- 現地に赴くことの重要性が再確認できたので、気になることはできるだけ現地に赴こうと感じた
- 自分の身は自分で守らないといけない。自分の大切なものは自分で行動を起こして守らないといけない。ウクライナ人の市民はそれを実現したため、核を保有しているロシアにも対応する事ができている。
- SNS で流れる情報を鵜呑みせずに、フェイクも存在し疑うことも必要だと思いました。
- 人のために動けるような人になろうと思った。
- ロシア軍がいる中で PTSD を患いながらも遺体を回収していた方のように、とても芯の強い人間になりたいと思った。

- まず、今の日本が恵まれた環境であるということがとても理解できた。また、自分自身ができる活動としては、ニュースの真実を見分ける能力を身につけることが大切と認識した。
- もし、日本で戦争が起こる時、自分も周りの大切な人々などのことを考えて、中の射撃訓練に参加した方がいいなと感じました。また、たとえどんなに大変な状況であろうと、聞かれたことにはきちんと正直に答えていきたいとも感じました。
- 軍事侵攻についての出来事は、国際関係と国際協力の重要性を強調するものです。このような出来事を通じて、国際的な視野を広げ、異なる文化や国々の価値観を理解し、共感力を養おうと感じました。
- 今回の公演からいつも私たちがみているニュースの裏側では記者たちが努力していることを知った。私はこのようなことはニュースだけではなく、他の事象にも当てはまると考える。そのため、これからの生活においてどんなものにも必ず裏方がいることを忘れず、感謝を大切に過ごしたい。
- 覚悟と信念を持つように生きようと思った。
- 今後の自分の生き方において、ネットの情報に右往左往するのではなく、自分の判断でうまく利用したいと思います。今後はさらに情報が多くなり、どの情報が正しいかなどわからなくなるかと思いますが、確証のない情報は広めないなどに気を付けて生きていきたいと思います。
- 日本も、中国といつか闘う時が来るかもしれないので、今回のウクライナ侵攻は他人事ではいと改めて感じた。いつまでも平和ボケしていたら、死ぬだけなので、危機感を持ちつつニュースなどで世界情勢を把握するようにしたい。
- 今回の話で、メディアリテラシーの重要性を再確認できた。メディアの情報の精度にも限界があることを知った。メディアの情報を鵜呑みにせず、一度自身で情報を精査することが必要だ。また、日本の新聞だけでなく、海外の新聞にも触れることで、多様な情報を得ることができるので大切だと思う。今後は、多様な情報源に触れてエコーチェamber現象を無くしたいと考えている。日頃からニュースに触れるように努力したい。
- 金成氏が質疑応答の際に仰っていた「英語は人生を楽しむ」という言葉を胸に、世界中の人々と繋がるべく語学を継続的に励みたいと感じた。

- 私は今回の講演を受けて、改めて戦いの悲惨さを実感した。また自身の国を自分たちで守ることの大切さを考えさらされるものだった。日本はその中で様々な国との問題を抱えている中で問題に対して無関心でいることは今後するべきではないと改めて感じた。
- 今回の講演内容を聞いて、ゼレンスキー氏のリーダーシップを活かしていこうと感じた。彼はロシアが「ウクライナの首脳陣は逃亡した」というニュースに対し、すぐに反応を示し、さらに国民まで鼓舞することで、ウクライナの指揮を大きく上げた。そして今もなお、世界に向けてアクションを起こし、ウクライナの防衛を続けている。また国民は彼を慕い、自分のため、国のために戦い続けている。そのような様子を見て、真のリーダーシップはこのようなものであると感じた。私もラグビー部の主将として残り少ない期間ではあるが、彼のような人間になりたいと感じている。
- 英語を今以上に学び、英語を習得したのち第三言語を学んでいこうと感じた。
- 毎日のいろんな情報が流れる中で、本当か嘘かわからないものが多く存在するため、まずは全部に疑いの目を向けて、自分で調べてみて、本当を見つけていく必要が今後生きていく上ではあると感じ、それを人生において大切にしていこう。
- 今の軍事侵攻が今後起こらないようにして生きたい
- この講演を聞いて、ネットにある情報を全て鵜呑みにするのではなく一回自分で調べてみてから考えたり、戦争の恐ろしさを忘れてはいけなと感じる。
- 私は今回の講演を聞いて自身の情報収集の甘さを痛感した。したがって私はこれから、ニュースについて表面の情報だけを調べるだけでなく少し掘り下げた内容を収集しもっと詳しくなっていきたいと考える。
- 今回の講演で日本と海外の自国に対する愛国心の違いが大きいと思います。なぜなら、ウクライナ人の方たちは昔からロシアと戦争しており、また、日本人は愛国心が他の国より低く、これからの生活では日本に対する愛国心をもって生活していきたい。
- 自分の命を大切にしないといけなと感じました。

- この公演内容が私の生き方に影響を与えたと思います。ウクライナの人たちが勇気を持って、戦う姿勢や外国人志願兵の話を聞き、私もいまを大切に生きていくべきだと考えた。